

【オーダー寸法】

建具幅: W

※計算方法は3枚目の資料を参考に算出してください。

枠内の高さ: H (鴨居と敷居との内寸法)

※障子本体の高さは鴨居・敷居の溝深さ(C/D)から算出して製作します。

【枠の形状確認用寸法】

溝幅: A、溝と溝の間B、鴨居溝深さC、敷居溝深さD

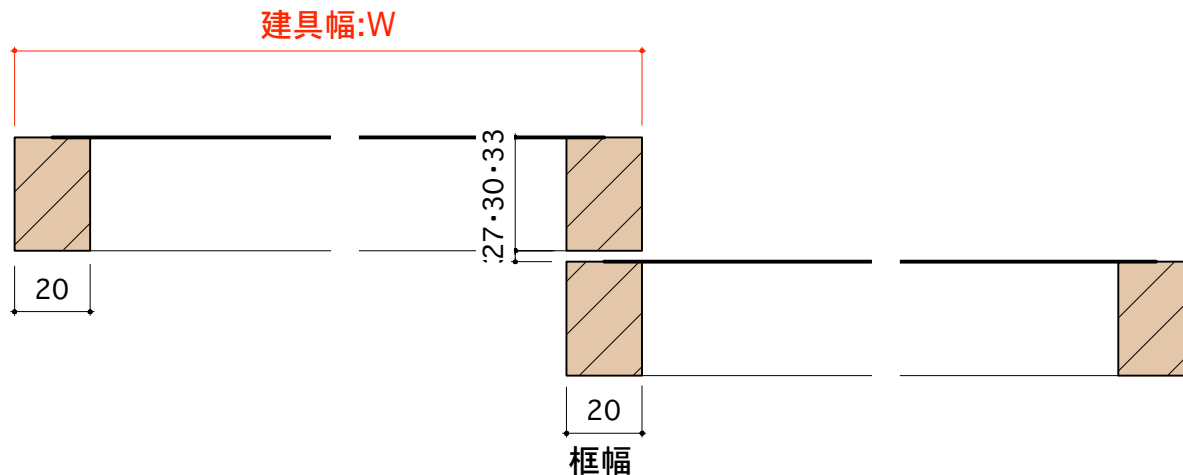
※よくある寸法体系 [A=21、B=9/12/15、C=15、D=4mm]

【建具の厚さについて】

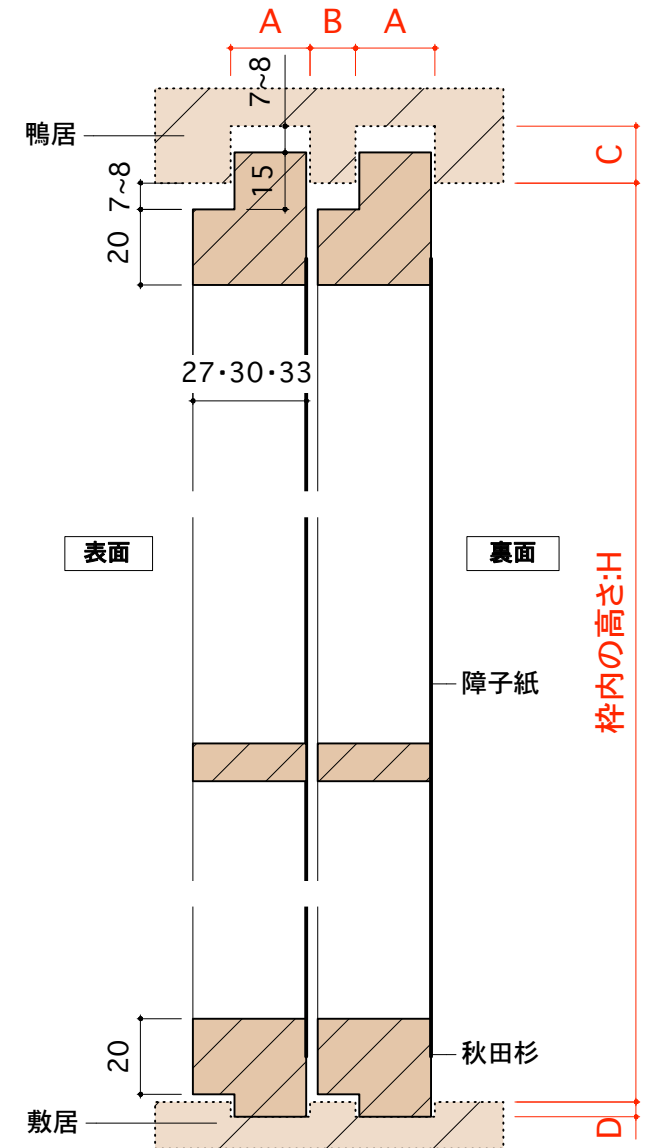
Bの寸法によって27mm・30mm・33mmのいずれかに調整します。

※溝が1本の場合、注文時にご希望がなければ30mmにて製作します。

□ 平面図



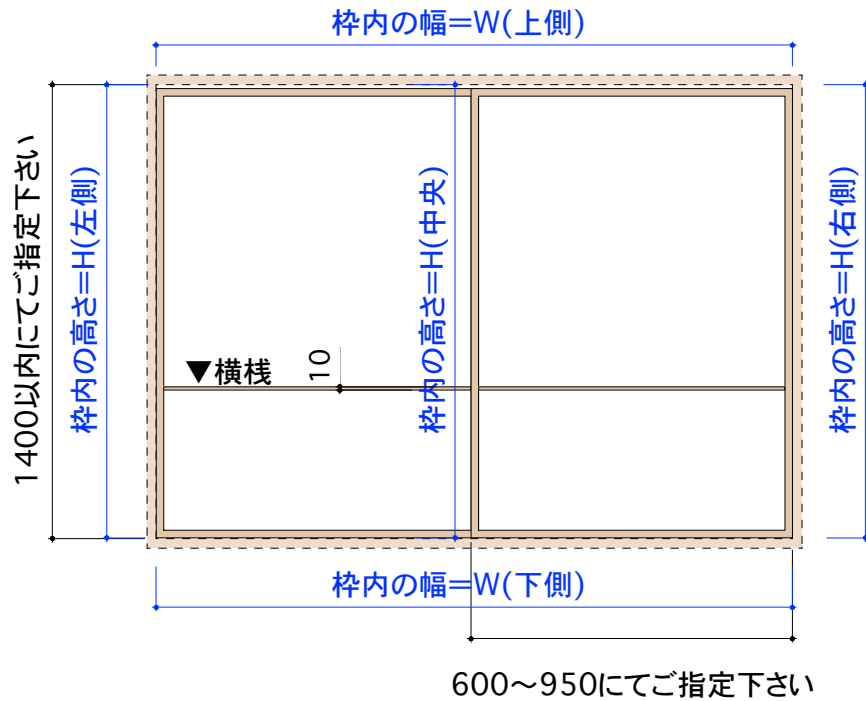
□ 断面図



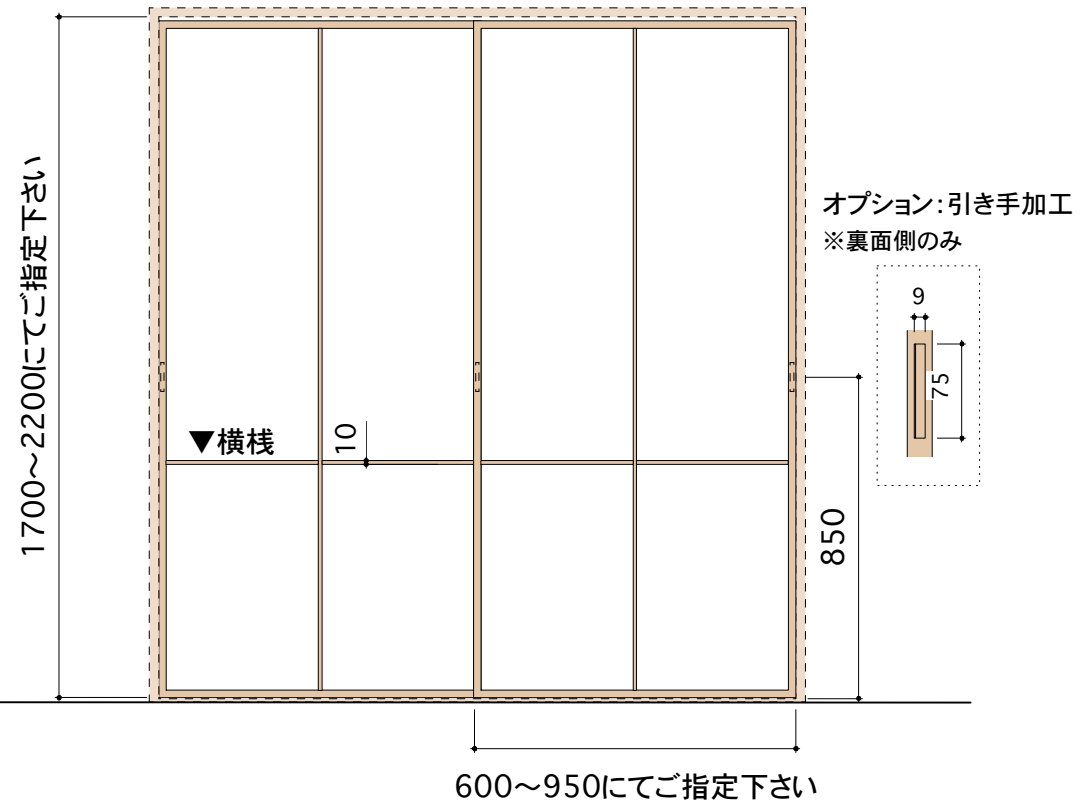
□ 正面図

※既存枠を利用する場合は枠の歪みをチェックするために各辺を採寸して下さい。
ご注文の際は、それぞれ最も小さいH/Wの寸法を目安にご注文ください。

腰窓タイプ



掃き出し窓タイプ



【横棧の位置について】

腰窓タイプ: H1200mm未満の場合、障子下端から350mm
H1200~H1400mmの場合、障子下端から400mm
掃き出し窓タイプ: H2100未満の場合、障子下端から590mm
H2100~H2200mmの場合、障子下端から650mm

※掃き出し窓タイプのみ、オプションで引き手加工が可能です。
障子貼り側の裏面の棧左右(2箇所/1枚)に加工します。

建具幅:Wの計算方法(参考)

框幅を20mm重ねる場合の計算事例です。ご計画に応じて、建具幅を決定ください。

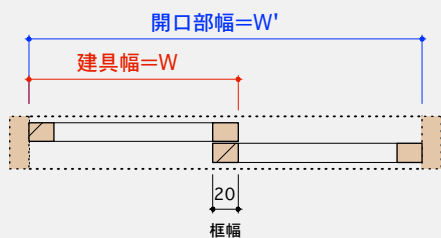
$$\text{建具幅: } W = \frac{\text{開口部幅 } W' + \text{框幅: } 20(n-1)}{n}$$

【例】開口部幅 $W'=1700$ 、2枚引き違い戸の場合

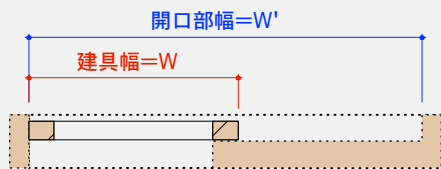
$$\text{建具幅: } W = \frac{1700 + \text{框幅: } 20(2-1)}{2} = 860$$

n=2

■2枚引き違い戸

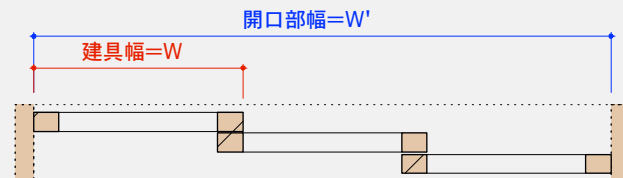


■1枚引き込み戸

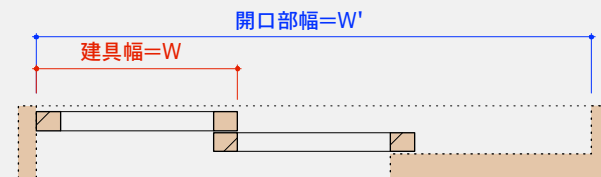


n=3

■3枚引き違い戸

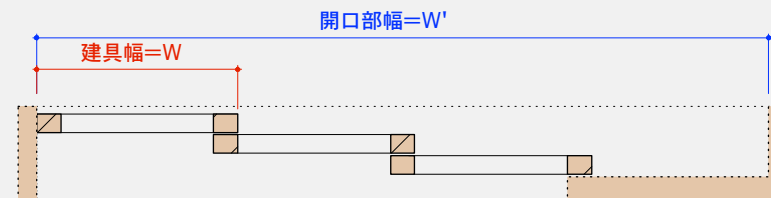


■2枚引き込み戸



n=4

■3枚引き込み戸



$$\text{建具幅: } W = \frac{\text{開口部幅 } W' + \text{框幅: } 20 \times 2}{4}$$

n=4

■4枚引き違い戸



■2枚引き分け戸

